

『庄内南地域自治協議会』設立趣意書

私たちの住まう旧庄内南小学校区は、豊中市の南部に位置し、交通の利便性の高い地域です。昭和 30 年代から文化住宅・アパート・建売住宅等が盛んに建てられ大阪市内の通勤者が居住する町として大きく発展してきました。また、日本の高速道路第一号である名神高速道路の豊中インターチェンジも設置され、より発展してきました。

庄内町は昭和 30 年(1955 年)1 月 1 日に大阪府豊能郡庄内町から豊中市に編入されました。庄内南小学校は、昭和 25 年(1950 年)に庄内小学校から分離し 15 番目の小学校となりました。昭和 30 年(1955 年)には庄内西小学校が、昭和 41 年(1966 年)には千成小学校が分離しました。庄内南小学校の場所は、戦前は庄内町立青年学校、戦後は庄内町立庄内中学校(旧第六中学校)が建っていた庄内の文教地区でもありました。

このように当地域は、「住居エリア」と「工場」が混在する、にぎやかで活気のある住みやすい住宅地として長く住民に愛されてきましたが、校区住民の多くに高齢化と少子化が進み、庄内南小学校をはじめ、以前分離した庄内西小学校と千成小学校、および第七中学校が統合し、小中一貫の義務教育学校として庄内よつば学園が令和 8 年(2026 年)4 月に開校することに至りました。

その課題認識の下、「幅広い住民の参画」を図りながら「コミュニティ活性化」を推し進めてまいりました。「地域自治のあり方」を検討するため、「庄内南地域自治検討会」(令和 7 年)を立上げ、昨年 9 月に「地域自治アンケート」等で住民意見をヒアリングし、課題を整理し、取組の方向性を検討してきたところです。

以上を踏まえ、「ビジョン」ならびに「取組項目」を下記のとおり定め、ここに「庄内南地域自治協議会」の設立を宣言します。

●庄内南地域自治協議会のビジョン

「皆で集い、皆で愉しめる、施策で幸せを実現するまち 庄内南地域」

●協議会での取組項目

- ・豊中市との協議事項の窓口
- ・地域防災の充実
- ・地域活性化等支援

(イベント開催・情報発信・団体等の側面支援・その他必要と認められる協議等)

令和 8 年(2026 年)4 月 26 日